

大阪狭山市 「第5回 まちづくり市民会議」 報告書

1. 実施概要

日 時：平成30年11月14日（水）

19:00~21:00

場 所：大阪狭山市役所

第1会議室

参加者：20名



2. プログラムの概要

前回までのまちづくり市民会議を踏まえ、今回からは市民会議の提言書の作成に取り組んでいきます。今回は、各地域でのこれから10年のまちづくりの課題と方針を共有し、今から取り組んでいけることについて考えていただきました。

● プログラム内容

1. はじめに（5分）

- ・ 前回の振り返り、今回の取り組みについて。

2. グループワーク（90分）

STEP_1

40分

地域の課題を考えよう！

- 地域の課題（改善すべきこと・魅力を活かすべきこと など）について考えました。

STEP_2

40分

地域でできる取り組みを考えよう！

- まちの課題に対応するために、地域で取り組みたいことを考えました。

STEP_3

10分

グループで考えたことをみんなに発表しよう！

- グループで考えたことを、フロア全体に発表しました。

6. 諸連絡、提案役の選出（10分）

- ・ 各グループで、次回のプロアクションカフェでの提案役になっていただく方を決めました。

3. まとめ（主な意見）

（１）狭山中学校区

地域の課題	地域で取り組みたいこと
■ まちの PR、知名度 UP ○ 大阪狭山市の歴史的な文化的遺産となるべき場所、家屋等の保存が不十分。 ○ 行政サービスの取組みが市民に伝わっていない。 ○ イベントの情報発信を行う。（媒体の力不足） ○ 狭山池の活性化（美味しいお店やホテルといった施設の誘致） ○ 観光資源の発掘	■ まちの PR、知名度 UP ○ 観光課の創設、市民の登用。 ○ 市外への広報の充実（関係人口へのアプローチ） ○ 街の全ての情報が集まってくるような拠点をつくる。 ○ 多世代の市民が見てもらえるように情報発信の媒体を増やす。
■ まちづくりの担い手 ○ 世代間の交流が少ない。機会が少なく、コミュニケーションが不足。 ○ まちづくり活動団体のダブリと多さ（→整理→予算の適正化） ○ 市外勤務の方が街のことを知らず、まちづくりに関心が持てない。	■ まちづくりの担い手 ○ 地域の活性化。（→地域あげての取組み→地域の多くの方々の参加意識向上） ○ 次世代の地域のリーダーづくり。 ○ 若年時、まちづくりの活動をしていた人材の再発掘。
■ 災害対策 ○ ボランティアの受け入れが物理的に不可能。 ○ 災害ボケしている現状打破（→危機感の無さを解消）	■ 災害対策 ○ 災害ボランティアは、継続、反復した活動が必要。
■ まちの開発 ○ 市街化、市街化調整区域の混在。 ○ 地域活性化への取組不足。 ○ 学区全体的に、既存設備の見直し、新たな誘致、再開発が必要。施設の老朽化。 ○ 狭山駅前近辺の不便さ。 ○ 道路が狭く、大部分で救急車や消防車が入らない。 ○ 交通手段が希薄で不便（バス）。 ○ 医者が多いが買い物施設が無い。	■ まちの開発 ○ 自治会活動活性化の検討が必要。 ○ 狭山駅周辺を特別区に指定し、生活に便利な施設、店を誘致すること。支援対策が必要。
	■ 介護問題 ○ 超高齢化社会が進行している。共助を優先。 ○ 自分達（家族）のできる介護と（福祉）公的（私的）サービスを受ける範囲の棲み分け→地域で解決

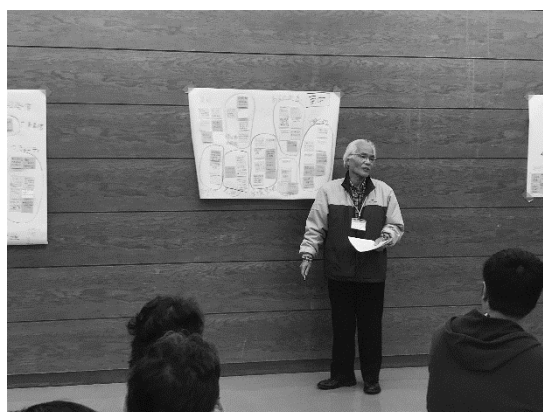
地域の課題	地域で取り組みたいこと
■ 空き家 ○ 空き家対策が必要。コミュニケーションの不足も一因。	■ 空き家 ○ 空き家コンシェルジュを配置し、マッチングを行う。 ○ 空き家マップの作成。行政は現状把握と権利関係しか見られないが、地域住民は歴史や人間関係が分かる。 ■ 市民が取り組めること ○ 行政に期待することのうち、市民が取り組めることが無いかを見つけていく。 ○ まちづくり、地域整備に大きな支障となっている 이슈（人・物）の洗い出し。 ○ 補助金に頼らない市民活動 ■ with 行政 ○ まちの「目安箱」設置 ○ 実現の可否は別として、民意を聞き取るシステムの構築。 ○ 地区会の会員が減少しているので、増やすための努力をする。



(2) 南中学校区

地域の課題	地域で取り組みたいこと
■ 子育て環境 ○ 若い世代、子育てが楽しい、地域で見守られているという安心感。 ○ 子育て世代向けの自然体験の機会がない。 ○ 美しいまちづくり。(花、看板、彫刻)	■ 景観 ○ 街に緑や花を。(壁面利用) ○ 開発と自然保護。
■ 中心地再開発 ○ コミセン付近(コノミヤなど)の交通事情。車が渋滞する。 ○ コノミヤ(スーパー)付近の駐車場出入口が危ない。 ○ コノミヤ、マツゲン、郵便局、商店などの再開発。	■ 中心地再開発 ○ 駐車場の整備、既存駐車場の有効活用。
■ あまの街道 ○ あまの街道の案内版不足、駐車場が無い。整備、広報して市民の憩いの場に。 ○ あまの街道からのネットワークが無い。(活かしていない) ○ あまの街道の桜の木が台風で被害を受けた。	■ あまの街道 ○ 回遊できるルートの整備。
■ 近大跡地利用 ○ 近大病院の移転問題、跡地利用。	■ 近大跡地利用 ○ 近大跡地を、5年後を描いて住民も参加して考える。
■ 交通 ○ 高齢化に伴う交通の確保。	■ 交通 ○ 100円バスのルート見直し。
■ 空き家・空き地 ○ 空き家が目立っている。空き家対策。 ○ 西山台4丁目・5丁目の団地。空き家、昭和のままの住まい。	■ 空き家・空き地 ○ 空き家・空き地の活用をしてほしい。人の募集、コーディネート。 ○ 今ある箱を有効活用する。 ○ 空き家をリノベーションして、市民の交流の居場所を作る。

地域の課題	地域で取り組みたいこと
■ 大野ぶどう ○ 後継者問題。農業高齢者をつくる。 ○ 大野ぶどうが活かせていない。 ■ 高齢者 ○ 高齢化率が市全体より高い。 ○ 高齢者の医療や福祉、地域の繋がり ○ 住み続けられる地域か。 ○ 高齢者の居場所が無い。居場所づくり。 ○ コミセンが有効に使えていない。	■ 大野ぶどう ○ ふるさと納税、返礼品活用（冬期は引換券） ○ 直売店を増やす。 ○ ぶどうのオーナー制度。 ○ 家庭菜園のような対応ができないか。 ■ 高齢者 ○ コミセンの利用。



(3) 第三中学校区

地域の課題	地域で取組みたいこと
■ 情報発信 ○ 高野街道の魅力発信。 ○ 歴史的価値のある建物などが多いが、広報や説明がない。 ■ 交通事情 ○ 道が狭い。生活道路なのに通行量が多い。自転車の飛び出しも多い。 ○ 公共施設が集まっているのに、横断歩道が危ない。(信号があるものと無いものがある) ○ 幼稚園、小学校、中学校、高校の通学路があるため子どもが多く、危ない。 ■ 公園・遊び場 ○ 子どもの遊び場が無くなってきている。公園などの整備が全くされていない場所も。 ■ コミュニティ ○ 歩いていても人と会わない。人が居ない。 ○ 既存住民と転入者(建売住宅)と意見の融和が難しい。 ○ 自治会の役員の成り手がいない。 ○ 行事の参加度合いは秋祭りが主である。 ○ 地域の中の人々が気楽に集まれる場が少ない。 ■ 土地事情 ○ 市街化調整区域が多い。市街化区域に変更すれば住民や税収が増え、活性化できる。 ○ 田畑が別の建物になってきているので、風景が変わってきている。 ○ 農地の継ぎ手がいない。 ○ 場所によっては買い物が不便。	■ 情報発信 ○ 魅力発信の情報誌を作る。(学校区ごとや市民と一緒に) ○ 市全体として魅力発信の取組を。 ■ 交通事情 ○ 通学用のグリーンベルトがガードレールの道側に設置されており、不十分。 ○ 警察に交通事情を理解をしてもらい、対策を打ってもらう必要がある。 ○ 横断歩道全体の見直し。 ■ 公園・遊び場 ○ 公園の雑草処理だけでも良いのでやる。 ○ 地域の公園活用。プレーパーク(冒険遊び場：子どもが大人の見守りの中、自分の責任で遊ぶ場)をひらく！ ■ コミュニティ ○ 親子で参加する、できる行事を考える。子どもを育てる。 ○ 親を育てよう！(自転車等のマナーなど) ○ 地域で触れ合いのできる行事を考える。 ■ 土地事情 ○ 市街化調整区域が多い問題に対しては、行政から、大阪府等に働きかけを行う。

地域の課題	地域で取組みたいこと
■ ごみ問題 ○ コンビニの数が多いので、路上でゴミを捨てる人が多く、ゴミが多い。	■ ごみ問題 ○ 自販機や路上放置のゴミ問題を考える必要がある。 ○ グリーンボード（街をきれいにするプロジェクト）のような活動をこつこつと行う。 ○ ゴミ捨て禁止の看板を、行政にたくさん作ってもらう。

